

地域密着型金融推進計画の取組状況

— 平成29年4月～平成32年3月 —

(平成30年3月現在)

平成30年 8月 1日



I. 当金庫の地域密着型金融推進計画(平成29年度～31年度)

1. 基本方針

当金庫は、地域経済の活性化や健全な発展のために、地域の中小企業等への経営サポートをはじめとして、積極的に、地域密着型金融の推進を図ります。

2. 具体的な取組み項目

① お客様へのコンサルティング機能の発揮

- 創業・新事業支援
- 経営改善支援・事業再生支援
- 人材育成
- 成長支援
- 事業承継支援

② 地域活性化等への積極的な参画

- 地域活性化につながる多様なサービスの提供
- 地域社会への貢献

③ 地域やお客様への積極的な情報発信

- 情報発信体制の強化
- 地域経済への多様な情報提供

Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

1. お客様へのコンサルティング機能の発揮

- ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
- 事業性評価に基づく融資の推進

創業・新事業支援

- ▶ 地域における創業や新規ビジネスの創出等を通じ、地方創生へ積極的に貢献するため、尾張旭市、尾張旭市商工会、日本政策金融公庫との共催により、昨年度に引き続き「尾張旭市創業セミナー」を開催しました。



- ▶ 女性の起業や雇用の創出を目指す「輝く女性ソーシャルビジネスコンテストあいち2017」に特別協賛し、「瀬戸信用金庫賞」を贈呈しました。

Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

成長支援

- ▶ 地方公共団体、商工会議所等と協力・連携し、地域の中小企業の発展に貢献するため、瀬戸市、陶都瀬戸躍進会議との共催で「知財活用セミナーinせと」を開催しました。
- ▶ 愛知県、瀬戸市との共催で『第2回せとしん「知財活用ビジネスマッチング交流会」』を開催しました。



経営改善支援・事業再生支援

- ▶ 愛知県中小企業再生支援協議会、愛知県・名古屋市信用保証協会、あいち産業振興機構等、外部機関の協働による中小企業支援を実施しました。

Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

事業承継支援

- 愛知県中小企業再生支援協議会、愛知県・名古屋市信用保証協会、あいち産業振興機構等、外部機関の協働による中小企業支援を実施しました。
- お客様の相続に関連する様々なニーズに応えるため、「遺言・相続セミナー」を開催しました。

人材育成

- 渉外担当者の事業性融資の営業力強化、コンサルティング能力の向上を図るため、「事業性評価講座」、「事業承継支援講座」および「創業支援講座」を実施しました。
- 知財ビジネス評価書活用セミナーを実施しました。



Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

2. 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ▶ 新しい資金調達の仕組みとして地方創生への活用が期待される「クラウドファンディング」の新規事業への活用方法や資金調達事例などを紹介する「クラウドファンディング活用セミナー」を開催しました。



- ▶ 互いの密接な連携により、愛知県内の労使双方の働き方改革を推進することを目的とし、愛知労働局と「働き方改革にかかる包括連携協定」を締結しました。

Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

地域社会への貢献



- ▶ 地域の大学と連携し、地域活性化及び地域の人材育成に貢献するため、名古屋学院大学において瀬戸市の産業振興等課題に対し、学生と教員が協働し問題解決策の提案を行う連携講座を実施、愛知淑徳大学においては信用金庫に関する理解を深め、将来金融機関の仕事に生きる有用な知識習得につなげることを目的に連携講座を実施しました。

- ▶ 地域の文化・スポーツ振興に寄与することを目的として、瀬戸市へ「瀬戸信用金庫総合グラウンド」を貸与し、一般利用を開始することで合意し、契約を締結しました。



Ⅱ. 平成29年度の主な取組実績

3. 地域やお客様への積極的な情報発信

情報発信体制の強化

- LINE@に当金庫公式アカウントを作成し、金庫及び地域情報を発信しています。



地域経済への多様な情報提供

- お客様の多様な資金運用ニーズに幅広くお応えするため、資産運用セミナーを開催しました。
- 尾張旭市内の4店舗合同講師例会にて、海外進出に係る勉強会を実施しました。
- 陶都瀬戸躍進会議および瀬戸商工会議所とともに「中小企業関連施策説明会」を主催しました。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

当金庫では、

- 「お客様へのコンサルティング機能の発揮」
- 「地域の面的再生への積極的な参画」
- 「地域やお客様への積極的な情報発信」

の3つを取組方針とし、地域密着型金融を推進しております。

こうした中、金融庁から、金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」（以下、ベンチマーク）」が公表されています。

金融機関は、このベンチマークの活用により金融仲介機能の質を高め、お客様のニーズや課題に適切にお応えし、お客様の企業価値の向上や生産性向上への支援を充実させることで、地域経済の持続的な成長に貢献することが期待されています。

当金庫は、平成30年3月末基準のベンチマーク（共通項目）の実績を公表するとともに、このベンチマークとともに、従来からの地域密着型金融の取り組みを継続することで、一層、地域活性化に向けた金融仲介機能の発揮に努めてまいります。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

（１）取引先企業の経営改善や成長力の強化

—当金庫がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先—
（単位：先）

	29/3期	30/3期
メイン先数	4,592	5,220
内、経営指標等が改善した先数	3,272	3,592

（単位：億円）

	29/3期	30/3期
メイン先の融資残高	2,782	3,115
内、経営指標等が改善した先に係る 事業年度末の融資残高の推移	2,115	2,178

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

（２）取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

①当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

（単位：先）

	29/3期	30/3期
条件変更先総数	1,052	957
内、好調先	126	114
内、順調先	446	399
内、不調先	480	444

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

②当金庫が関与した創業、第二創業の件数

（単位：億円）

	29/3期	30/3期
創業件数	597	703
第二創業件数	0	0

※当金庫が関与した創業、第二創業の件数とは、創業計画の策定支援、創業期取引先への融資等による支援を実施した件数としております。

※第二創業とは、既に事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること、抜本的な事業再生によって企業が業種を変えて再建すること等としております。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

③ライフステージ別の与信先数（単体ベース）および融資残高

（単位：与信先数：先／融資残高：億円）

	29/3期						30/3期					
	総数	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	総数	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	12,286	972	793	9,068	302	1,151	12,585	1,148	716	9,324	354	1,043
融資残高	4,724	170	454	3,349	80	668	4,997	206	353	3,669	136	631

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

(3) 担保・保証依存の融資姿勢からの転換

—当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高、及び、全与信先数及び融資残高に占める割合—

	29/3期	30/3期
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	140先	281先
全与信先数に占める割合	1.1%	2.2%
事業性評価に基づく融資を行っている融資残高	28億円	17億円
当該与信先の融資残高に占める割合	0.6%	0.3%